

# JWTC NEWSLETTER

Vol.32 No.2 August 2012

JWTC2012年度 第1回勉強会

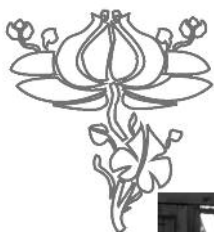
## ディスティネーションセミナー 「タイ」

2012年5月12日(土) 「サイアムヘリテイジ 新丸ビル店」において

講師：藤村喜章氏 タイ国政府観光庁 マーケティングマネージャー



藤村喜章氏



挨拶する戸井川会長

5月12日(土)、サイアムヘリテイジ 新丸ビル店において、会員16名・ビジター1名が参加し、ディスティネーション「タイ」セミナーと昼食懇親会を実施しました。

講師は、タイ国政府観光庁 マーケティングマネージャー藤村喜章氏。会場がレストランの1室だったため、プロジェクターの代わりにテーマごとの丁寧な資料が用意されていて、参加者一人一人に配られました。藤村氏の講義内容の一部を要約してご紹介しますと……

近ごろのタイは、クーデターによる空港閉鎖や市民デモ、大洪水などのマイナスイメージが強い一方で、日本からの直行便は84便と数多く、朝、午後のフライトも選べて、行きやすい便利なディスティネーションです。

タイには、日本文化が根付いていて、TV番組の影響も大きく、ラーメン、アイアンシェフなど、老若男女に日本は身近です。が、2006年130万人をピークに日本人渡航者数は減っています。タイにとって、マレーシア、中国に次いで日本は3位。日本人の渡航者の男女比は、8:2で、圧倒的に男性が多く、そのほとんどがリピーターです。

今後の課題として、女性、ファーストビジターへのアプローチを考えた場合、①農作物・コンピューター・家具などMICE ②フルーツ・カービング類・ムエタイなどタイらしさ ③寺院建築など文化遺産 ④マラソンの開催もあるビーチ ⑤国立公園は11箇所、広さは日本の1.5倍の面積という自然 ⑥バンコク・チェンマイ・パタヤ・サムイ・プーケットにある国際病院は日本語対応が徹底しており、医療水準も高い ⑦創作料理などのトレンドイヤー ⑧お祭りやイベントが多い ⑨ゴルフは180位のコースがあり、安い ⑩毎年6月～8月にはセールが行われる など、楽しいプランに溢れています。

藤村氏は、タイの情報を、旅行会社の目線で説明してくださいました。戸井川会長も挨拶の中で「魅力あふれるタイを、また売って行こう、という気持ちになりました」と語っていましたが、誰もが同じような気持ちになる素晴らしい内容でした。

星 恵美子 スタープランニング

### ◆参加された皆様のご感想◆

- TVなどマスコミを通してのニュースでは分からない生のニュースを詳しくお話いただき大変参考になりました。レジュメがとても分かりやすかったです。(佐々木 真理子)
- 最新のタイ情報、ありがとうございます。女性の渡航者数の比率が低いのは意外な感じでした。いわゆるブランドものではないお買物が楽しめ、スパ等女性が楽しめる要素がたくさんあるのに、やはり洪水、クーデター等々が大きいのかもかもしれません。(西島羽 洋子)
- とても分かりやすく、楽しいお話でした。日本人渡航者の男女比や年代別等のデータが想像と違って少々びっくり。久しぶりにタイに行きたくなりました。(田辺 典子)



# 北茨城 復興応援ツアー

梅雨晴れの6月23日、「貸切バスで行く北茨城 復興応援ツアー」に参加させていただきました。総勢29名、大型バスで早朝の東京駅を出発し常磐自動車道を一路北茨城へ。

震災の被害を受けた五浦では、近代日本を代表する思想家・岡倉天心邸や流石後再建された「六角堂」などを見学し、五浦観光ホテルへ。絶景露天風呂で汗を流した後、元高校教師をされていたという、茨城県商工労働部観光物産課副参事橋川栄作氏の講演をうかがいました。

茨城県はメロンをはじめ、生産日本一の果物や野菜が多くあり、ロケ数も日本一。でも、アンケートによる観光意欲度・認知度ではなぜかいつも下位だそうです。また、震災の被害が大きかったにもかかわらず、その実情があまり知られていないとのこと。橋川氏は、その茨城県を盛り上げるための観光復興策を熱く語っていただきました。キーワードは「フィルム ツーリズム」と「食」。頑張れ茨城県！頑張れ橋川さん！水戸生まれの私も一生懸命応援したいと思っています。



橋川氏の講演



海の幸を堪能しました

ダイナミックで変化に富んだ五浦の景観が目の前に広がる大広間で、地元・木内酒造の地ビールとお酒をいただきながら、海の幸いっぱい昼食。ここでは、皆様のパワーの源が“アルコール”であることが判明・・・。

食後は、天心の業績と共に横山大観・菱田春草・下山観山等、五浦の作家たちの作品が紹介されている「天心記念五浦美術館」を見学。「いわさきちひろ」の二つの美術館を手掛けた内藤廣さん設計の、太平洋と一体化した美術館は、期待していた通り素晴らしい空間を生み出していました。

次に向かった先は、震災の被害が大きかった北茨城の大津港から水揚げされた新鮮な魚介類が並ぶ魚市場「松野屋」。夕食に、お酒のおつまみに、と皆さん様々な食材をかごに入れレジの列へ。

次は、北茨城生まれの童謡詩人「野口雨情」の記念館へ。ここは、歌い手である私の兄が、同じ茨城県出身というご縁で、雨情生誕120年コンサートを開いていたことや、亡母が大の童謡好きだったこともあって、ぜひ一度訪れたいと思っていたところでした。「十五夜お月さん」「雨ふりお月さん」「あのまちこのまち」「波浮の港」などを聞き、遠い昔の様々な風景を思い出しながら記念館を後にしました。

最後の締めは、木内酒造。震災の見事な復興を支えているのはこの人たち、と思わせるような元気なスタッフの誘導で



茨城の県花「バラ」



木内酒造で試飲&お買い物



ビール工房などを見学。ニューヨークで一番人気のある日本のビール、松井選手のお気に入りのお酒「月下香」、そしてコンテストで日本一になった梅酒は、全て木内酒造のもの。知らないことばかりでした。ここでも一行は売りに上げに大貢献。

車窓から見え隠れするスカイツリーを楽しみながら、政治のちょっとお堅い話や、TVの話などで盛り上がりながら、19時40分、バスは東京駅に無事到着。

私にとって初めての親睦旅行は、充実したとても楽しい一日となりました。お忙しい中、細かいところまでお心遣いくださった幹事の皆様方、本当にお疲れ様でした。

佐々木真理子 東京エアトラベル・ホテル専門学校講師

## ◆第2回勉強会報告◆

## フラダンスと健康

日時：2012年4月21日(土)  
会場：ホテルキャッスルプラザ  
出席者：会員7名 ビジター1名

名古屋支部会員の深谷佐和子さん【フィオ・カマレイ・ピカケ所属 Pua-Kalaunu Sawako (=花の冠)】に講師をお願いし、ハワイの歴史からフラの基本動作まで実技を交えながら楽しく教えていただきました。

HULAとはハワイの伝統民族舞踊で宗教的な意味を持ち、神に捧げる神聖な踊りで、その昔、文字を持たない民族がお互いの意思を通じ合う手段としていたそうです。またフラの詩は自然への賛歌、神々への賛歌であり、言葉の一つ一つを決まった振りで表現する手話の踊りであり、とても分かりやすいものです。

よく聞く「アロハ」は思いやりと調和、気持ちの穏やかで、謙虚、忍耐という現地語の頭文字を略したものです。全部を含め「博愛の精神」を表す言葉で、挨拶に使われるだけではなく、この「アロハ」の精神でフラは踊るものだと教えていただきました。

今回は、深谷さんにご用意いただいたレイや髪飾りを付け、実際に曲に合わせて「月の夜は」と「アロハオエ」の2曲の踊りを教えていただきました。

笑顔を活かしながら腰を振り優雅なステップを！と思い浮かべ



ておりましたが、手足が教えていただいたように動かず四苦八苦。

フラに一番大切なものは「笑顔」「笑顔」と何度言われても真剣な顔つきに。ゆったり踊る動作ですが、これほどに足腰と腕の筋肉を使うものかと、日頃の運動不足を痛感しました。年を重ねると足腰から弱くなると聞きますが、フラはその足腰を鍛えるのに最適だと思います。激しい動作はなく太極拳と同様、健康に良く、また綺麗な音楽と優雅な振りに癒されるものでした。深谷さんの若さの秘訣が分かりました。

楽しく教えていただき、最後に先生の優雅なフラを拝見して1時間30分の勉強会はあっという間に終了。ハワイアンミュージックとピカケの香りの漂う素敵なひと時を過ごしました。

三宅博子 日通旅行



## 徒然なるままに

名古屋支部 鈴木恒子

リレーエッセイの依頼を受けてから早1年。仕事を引退してからの私にはネタが無いのである。自称「明るい引きこもり」。1週間に1回の食料買い出し以外ほとんど家から出ない。そんな生活の中のマイニュースは、何気ない日常の出来事だ。

去年の冬の午後、東側の窓から遠くを眺め、今までにない景色に遭遇した。ピンクに染まった南アルプスの雪山連山である。木曾御岳はひときわ大きいため分かるのだが、今まで雲とか空と思っていた場所が山々だったとは。条件が重なっ



たのだらう、たまたまのぞいた窓からの風景に見入ってしまったのである(三方を山に囲まれた尾張平野在住)。なんで気付かなかったのだらうと自分に腹立たしさをも覚えたのである。

いつも下ばかりを見て通勤し、景色はツアー企画の一つに過ぎず、段取りしか考えていなかった。多分同じ景色を見ていたが覚えていないのかも知れない。心の余裕で大事だとつくづく思う。

今我が家のベランダでは、ハイビスカスが咲き誇っている。殺伐としたオフィスに少しでも安らぎをと、在職中に買った鉢植えのハイビスカス。日ごろの仕事に行き詰まった心が、あのぱっと咲いた赤い花に魅かれたのだと思う。

苦楽を共にした私のハイビスカス。かれこれ8年ほどの付き合いになる。買った翌年は花を一つも付けず。3年目は、花が咲かなかったら捨てようと思っていた。冬には見事に葉まで落とし枝のみとなるが、次の春には芽を出し、花を咲かせた。それから毎年私を楽しませてくれる。友達に言わせると、ハイビスカスに



花を咲かせるのは意外と難しいらしく、相性もあるようだ。私の愛情を裏切らず咲くハイビスカスが、何とも愛おしい。

また、花の終わりが気に入っている。始末がよいのだ。咲き初めから3日程で終わるのだが、花びらをきれいに巻き上げ、コットンと落ちる。台風の過ぎ去ったある日、強風で吹き飛ばされた花を鉢の土に差し戻してやった。花は何事もなかったように咲き続け、巻き上げて終えた。ますますかわいい。

そんなハイビスカスに家人は嫉妬している。私の旅行中、「水やり」拒否の報復をまたもちらつかせている。

次号はH.I.S.の狩野知保さんにバトンタッチです。どうぞよろしく願いいたします。

# ◆ 運営委員会だより ◆

## 2012年4月～7月

### □総務部□

- 総会議事録
- 会費納入状況の報告

### □会員部□

- 親睦会の提案・報告
- ハンドブックの発行
- 入会ご案内レター
- 会員データの変更、退会等「変更通知書」提出について

### □事業部□

- 5月ディスティネーションセミナー（タイ）
- 10月実施予定 勉強会  
（パレスホテル東京 見学会）

### □広報部□

- ニュースレター（4月）発行
- ニュースレター（8月）発行

### □その他□

- 特別勉強会・佐賀県について

### ◎会員部からのお知らせ◎

#### 「入会申込書」「変更通知書」 ご提出についてのお願い

入会、または連絡先などの変更の場合は、必ず次の書類を使用し、会員部部长宛てにお送りください。

提出書類 入会：入会申込書  
最新会員ハンドブック23ページ  
変更：変更通知書 同25ページ

宛 先 会員部部长：齋藤久美子  
（会員No.214、ソウル東方観光株）  
〒111-0041  
台東区元浅草4-9-7  
マルキクレジデンス702号  
ソウル東方観光株 東日本統括事務所  
E-mail kumikos2884@hotmail.co.jp  
FAX 03-5806-1376

\* 会員部部长が田邊真利子氏から変更になりました。

### JWTC 特別勉強会のお知らせ <佐賀の魅力を知るセミナー>

会員の皆様にはメールにてご案内を差し上げておりますが、佐賀県首都圏本部様と JWTC の共同開催による特別勉強会の申し込み締切日が迫っております。ご検討の方はぜひお申込みください。ビジターもお誘いいただき多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：9月8日（土）11時開始 15時終了予定（受付10時30分より）  
会 場：ギャラリーりん（東京メトロ 表参道駅 徒歩2分）  
ご参加の方には別途ご案内いたします。

内 容：講演：焼き物を通して『佐賀の魅力を知る』  
講師：鈴木 由紀夫先生（佐賀県立九州陶磁文化館館長）  
講演の後、佐賀の食材を使ったお料理とお酒の試飲をお楽しみいただき、食材を通して佐賀の魅力を知っていただきます。

会 費：JWTC 会員 8,500円 ビジター 9,000円  
申込締切：9月3日（月） キャンセル料 9月4日以降全額  
申込方法：副会長・田辺まで E-Mail n-tanabe@keioplaza.co.jp  
FAX 03-3344-4740

必要事項（①氏名・会員番号 ②ビジターの有無〈有の場合ビジター一人数と氏名〉 ③当日の緊急連絡先〈携帯番号等〉）を明記の上、お申し込みください。

### JWTC 秋の勉強会のお知らせ <パレスホテル東京 見学会>

「パレスホテル東京」のホテル見学会ならびに懇親会を、下記の通り実施いたします。（会員ハンドブック記載の開催日程が、下記の通り変更になりました。ご注意ください）

5月17日グランドオープンした、丸の内1-1-1 皇居前の緑と水に彩られた新生・パレスホテル東京を視察した後は、オールデイダイニング「グランドキッチン」でのお食事をご堪能いただく趣向です。特別にリーズナブルな予算でディナータイムをご用意いただきました。ぜひご参加ください。

日 時：2012年10月30日（火）  
18時30分集合 1階ゲストリレーションズ前  
（順次、ホテル見学会に入ります）  
19時30分～ 「グランドキッチン」  
着式コースメニュー（1ドリンク付き）  
場 所：パレスホテル東京 <http://www.palacehoteltokyo.com/>  
（JR 東京駅から徒歩8分・地下鉄 大手町駅（C13出口）すぐ）  
会 費：JWTC 会員 5,000円（見学会のみは無料）  
ビジター 6,000円

申込締切：10月15日（月） キャンセル料 10月26日以降全額  
申込方法：事業部・千葉まで E-Mail info@longstaystyle.com  
FAX 03-3280-6186

必要事項（①氏名・会員番号 ②所属先 ③当日の緊急連絡先 ④ビジター名・肩書き）を明記の上、お申し込みください。

### 編 集 後 記



昨今の今頃は、電力不足により「節電」が合言葉の毎日。社内はクーラーの温度一つにも敏感になっていました。今年は昨年ほどの緊張感は無く、暑さに耐えられずつついついクーラーに頼っています。慣れとは恐ろしいもの、あれだけの経験をしたのに、月日が経つと意識しなくなるものです。

日常意識していない、いざとなって気づいたり思い返すことに人との絆があります。2011年の一文字は「絆」でしたが、私は今年も「絆」を強く感じる年になりました。というのも、突然の辞命でブラジル赴任が決まり、運営委員会の席でご報告したところ、皆様から力強い励ましを頂きました。地球の真裏ですから、JWTCの活動に参加することはできません。それでも「ブラジル便りを届けてね」「何年後になっても帰国してから、また活動すれば良いから」と、温かいお言葉を頂きました。東京へ赴任して2年半。右も左も分からない私にとって、JWTCの活動は大変ありがたいものでした。そして今回もまた、異国の地へ赴く私に「絆」を感じさせて頂いた一シーンです。

両親もいい年になりました。一番遠い国へかわいがっている孫が行ってしまうことはさびしいでしょうが「元気で存分にやっつけてこい」と言ってくれるのは「絆」があるからだと思っています。

好き勝手している親不孝娘でも、いざとなって改めて親のありがたみを感じています。

日々平穩に暮らせる、仕事に赴けることに感謝して、遠くへ行っても「絆」を大切に JWTC 会員としてがんばりたいと思います！  
(C.K.)